

白鳥地区に名古屋キャンパス新設

40年ぶり名古屋へ 07年4月に開学

名古屋学院大学は二層の質的向上と、大学としての更なる魅力作りを図るため、名古屋市熱田区白鳥地区の国際会議場南隣の名古屋キャンパス(16,000㎡)を賃借し、2007年4月に名古屋キャンパス(延べ床面積20,000㎡)を開設することとなりました。

更にそこから700mほど離れた地下鉄日比野駅の真上にある日比野市街地再開発地区の一角に、名古屋市が地上8階建てのビル(5,000㎡の床面積)を建設、それを名古屋学院大学が取得して、ここにもキャンパスを設置します。

名古屋キャンパスには経済学部・商学部・外国語学部が入る予定で、学生数は約4,000人を想定。瀬戸キャンパス(約313,000㎡)と比べ、敷地は狭いですが、周辺には公園・広場・国際会議場があり、キャンパスの立地条件としては素晴らしいものがあります。また、地下鉄日比野駅、西高蔵駅から徒歩

5分と、都市にある交通至便な大学として、その利便性を十二分に発揮できる環境があります。

一方、現在の瀬戸キャンパスには総学生数1,000人程度の新学部の設置を検討中であり、具体的な学部については現在構想中、2006年4月の開設を予定しています。

名古屋学院大学の二層の発展のためにも、同窓生の皆様におかれましては、名古屋キャンパスと瀬戸キャンパスの整備に対しご理解とご協力をお願い申し上げます。



名古屋キャンパス開学予定地

名古屋学院大学同窓会

入場料
無料

第13回 ホームカミングデーのご案内

日 時
10月31日(日)
正午から午後2時まで
—例年の日程と異なりますのでご注意ください。—
場 所
名古屋学院大学「思星館」(第2食堂)
<チャペル前の建物です>

毎年、文化の日に行われるホームカミングデーを今年は10月29日(金)から3日間にわたって行われる名学大祭に合わせて31日(日)に開催します。

同窓生が年一回、一堂に集うこの日を心待ちにされている方もたくさんいらっしゃると思います。懐かしいキャンパスで、親しき仲間と語らう楽しいひとときをご一緒しませんか。もちろん、ご家族同伴の参加も大歓迎です。立食パーティー形式ですから、気兼ねなく楽しい1日を過ごしていただけることとお約束します。また、当日は楽しいイベントも盛り沢山です。

是非とも多くの同窓生の方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。



今年は
10月31日
開催



ホームカミングデー 主な行事

犬飼得雄&
プリティーキャッツ

優秀クラブの表彰式

OB・OG会の開催

- ・大西ゼミナール
- ・剣道部
- ・ワンダーフォーゲル部
- ・他、各部・各ゼミナール

ごあいさつ



名古屋学院大学同窓会会長 占部憲一

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は、名古屋東急ホテルにおいて「同窓会35周年記念パーティー」を行いました。同窓生を含め300名を越える方々にご参加いただき、35周年の喜びを分かち合うことができたことをここに感謝の気持ちと共にご報告いたします。

今年もホームカミングデーを瀬戸キャンパスで開催させていただきます。同窓会はこれからも同窓生の皆様がお互いに交流を深められる機会を作れるよう努め、さまざまな取り組みを積極的に実行してまいります。

Greetings

対談 | 伊藤信義 名古屋学院大学理事長に何う |

2003年8月、名古屋学院大学の新任理事長に伊藤信義氏が就任され1年が経過しました。名中・名高の理事長も兼務され、名古屋学院の将来像をどのように見据えられているか。理事長が目標とする「名古屋学院大学」像とは？

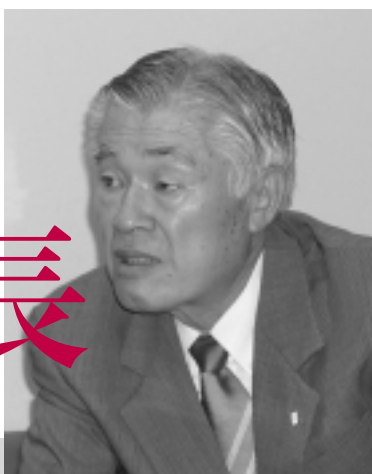
これらをテーマに、伊藤理事長と占部同窓会会長に対談をしていただきました。

個性豊かでコミュニケーション能力あふれる人材を社会に輩出する大学でありたい

—名古屋学院大学理事長に就任されて1年が経過しました。中高及び大学を総合的な視野で指導していくお立場ですが、大学の今後の方向性を聞かせていただけますか。

伊藤理事長（以下理事長に略） 「名古屋学院大学理事長に就任してまだ1年を経たばかりですから、大学理事長としての職務を十全に果たすために日々努めているところですが、ただ、就任して感じたことは、名古屋学院大学の方向性というか目標が5〜6年程揺れていたのではないかとこの点です。少子化による受験生数の減少をはじめ他大学も含めた学部・学科の多様化などが、大学自体の立脚点をかなり変化させてきました。これは本学だけでなく、教育環境全体の変化でもあります。私はこの点に対する本学のポジションを明確化し、建学精神の『敬愛』を背景にした意識の建て直しを図らなければいけないと考えています。その意味では大変な責務があります。」

占部会長（以下会長に略） 「名中・名高の



Nobuyoshi Ito

理事長

理事長も兼務されている伊藤理事長ですが、本紙読者である同窓生の方々に伊藤理事長の人となりをご紹介頂きますでしょうか。」

理事長 「名中・名高を経て東京教育大学（現筑波大学）卒業後、アメリカ・コネチカット

同窓会会長

Kenichi Urabe



大学の大学院で学びました。その後30余年は名古屋市立大学の教育現場で主に教鞭を取り、カンサス州立大学の客員教授を最後に、約40年振りに名中・名高の理事長として母校に戻ってまいりました。名古屋に戻って今年で11年目です。」

—名古屋学院大学との接点はいつ頃からあったのですか。

理事長 「本学開学と同時に本学のバスケットボール部ヘッドコーチに就任し、4年間指導しました。私自身、大学時代はもちろん実業団でもプレーしておりました。今は名古屋市体育協会会長、愛知県体育協会副会長を務めております。」

会長 「スポーツを通して健全な心身を作る、これは教育の原点でもありますね。理事長が目指す教育の原点もやはりそこにあるのですか。また、名中・名高の理事長に就任されて以来、名中・名高の学力がかなり上がってきたと伺っています。」

理事長 「私は文武両道が学生の本分であると確信しております。学問だけでなくも駄目、またスポーツだけでなくも駄目です。学問とスポーツの2本柱が両立してこそ、優れた学生が育ちます。特にスポーツを通して協調性を学ぶことは、学生が社会へ巣立つにあたり大変良いことです。社会生活の基本は協調性であり、人付き合いが上手くできないといけませんから、『健全な肉体に健全な精神が宿る』、これは私の持論です。名中・

出席者
理事長 伊藤信義
同窓会会長 占部憲一
司会
同窓会副会長 須崎英晴

名高でも理事長として学力の向上はもちろん、スポーツの振興・強化に努めてきましたが、本学でもこれを実践してまいります。」

名古屋学院大学40周年の節目を迎えて

—先程、母校に40年振りに戻ったというお話が出ました。名古屋学院大学も今年10月に開学40周年を迎えます。名古屋キャンパス設置の話題が新聞で報道されましたが、この節目の年に「計画されていることは。」

理事長 「10月14日(木)に創立記念特別講演会『ゆつくり歩こうなあ』を名古屋グランドパレスで、翌15日(金)には創立記念講演会『次なる40年に向かって—新価値の創造—』を名古屋国際会議場に於いて行います。同窓生の皆様も是非ご参加いただきますよう、この紙面を借りてお願い申し上げます。」

会長 「ところで、名古屋キャンパス設置についてはいかがですか。また、来年4月には外国語学部『国際文化協力学科』が設けられます。また、新学部の設置などもお話しただけいたら幸いです。私たち同窓生も今後の名古屋学院大学の動向にかなり注目しています。」

理事長 「まず『国際文化協力学科』は、これまで外国語学部で行ってきた2学科の言語教育の実績をもとに、国際文化の理解及び国際貢献の立場より異文化社会にお



いて専門知識と能力をもって活躍できる人材を育成することを目指す学科です。新学部については来年春季を目標に申請を行う予定で、具体的な内容などは現在詰めている最中です。また、名古屋キャンパスは、新聞報道でも紹介されたように2007年4月を目指して名古屋市熱田区での開設を準備している段階です。詳しくお知らせできる段階になれば、また皆様にご報告できると思います。名古屋キャンパスについて一言申し上げるなら、勉学・スポーツ・アルバイトなど充実した、豊かな学生生活が送れることを求める今の学生達の期待に応える意味で、交通至便な立地に新設を決めました。」

会長 「瀬戸と名古屋にキャンパスが2つできれば、名古屋学院大学もまた新しい広がり期待できますね。今後、名古屋学院大学として社会にどのような人材を輩出していきたいとお考えですか。」

理事長 「先程も冒頭でお話ししましたが、文武両道を通して、社会に通用する人材を送り出したいと考えております。日本の社会を支えるハブのようなポジションで活躍する有能な人材を輩出する大学となるよう、これからも努めていきたいですね。そのためには、学生諸君にはスポーツをはじめとするクラブ・サークルで様々な物の考え方や行動力を身に付けてもらいたいと思います。」

大学と同窓会の緊密なリレーションシップ

—社会で通用する人材育成という意味では、学生が企業で研修を受けるインターンシップという制度があり、名古屋学院大学でも精力的に実施されていると伺っていますか。」

理事長 「インターンシップは、社会に出る前に働くことの意義や仕事に対する理解を深めてもらう上で良い制度です。」

会長 「同窓会としても、3万人を超える同窓生がおりますし、企業を経営されている方も多数いらっしゃいますので、インターンシップの受け入れ先企業をご紹介できると思います。大学との関係がこれをきっかけにより密になることは同窓会としても大歓迎です。」

理事長 「それは是非ともお願いしたい。受け入れ先になっても良いという本学OB・OG企業に手を上げていただき、後輩の社会経験づくりを助けていただければ幸いです。」

—大学と同窓会の密な関係づくりという点では、同窓生子弟対象AO入試も上げられますか。こちらについてはどのようにお考えですか。」

理事長 「名古屋学院大学のファミリーを形成するという意味で、今後も継続して行っていく予定です。是非同窓生子弟対象AO入試を受験していただきたい。私は起業家育成という言葉を使っていますが、中高大学一貫教育を目指す本学は、企業を経営されている方々のご子弟や起業家への夢を持ったご子弟いわゆる「後継ぎ」の教育を安心して任せていただける環境が整っています。」

関東や関西など目の届きにくい大学へ入学させるよりも、皆様の「後継ぎ」が1人でも多く本学に入学していただけることを希望します。」

会長 「大学受験を控えた子弟を持つ同窓生の方々には大変心強いご発言をありがとうございます。」

—最後に、理事長から同窓会に要望したいことがあれば教えてください。」

理事長 「インターンシップ受け入れ先企業の件と同窓生子弟対象AO入試についてもそうですが、とにかく大学と同窓会がより緊密な関係を築いていけるよう本学に暖かいご支援とご鞭撻を賜りたいと思います。もちろん本学40年の由緒ある歴史が物語るように、かなりの人材が社会でご活躍されています。学生の就職面でもご指導いただければ幸いです。」

会長 「今お話に出たことをはじめ、様々な面でご協力できるよう同窓会としても努めていきたいと思っております。ご多忙の中、いろいろ多岐に渡りお話しいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。」

名古屋学院大学 理事長
伊藤信義 (いとうのぶよし)

生年月日 1933(昭和8)年5月5日

1952(昭和27)年	名古屋高等学校卒業	
1956(昭和31)年	名古屋大学体育学部卒業	
1966(昭和41)年	コネチカット大学院(修士課程修了)	
1976(昭和51)年	名古屋市立保育短期大学教授	
1978(昭和53)年	～1979(昭和54)年	カンサス州立大学交換教授
1987(昭和62)年	～1991(平成3)年	名古屋市立保育短期大学学長
1991(平成3)年	～1992(平成4)年	カンサス州立大学客員教授
1992(平成4)年	～1995(平成7)年	名古屋学院中学・高等学校長、学校法人名古屋学院理事
1995(平成7)年	～現在	学校法人名古屋学院理事長
2003(平成15)年	～現在	学校法人名古屋学院大学理事長

- ・体育経営学専攻
- ・愛知県私学協会理事
- ・財団法人愛知県体育協会副会長
- ・名古屋スポーツ教育審議会委員
- ・体育経営学会
- ・財団法人名古屋市体育協会会長



語学に対する興味が人生を変えた

2005年4月、名古屋学院大学の外国語学部へ英米語学科、中国語学科に続く第3の学科「国際文化協力学科」が開設されます。国際時代を見据えた「海外で活躍できる人材、異文化交流の架け橋となり得る人材」の育成を目的とした新学科の主旨をそのまま20数年前に実践していた人物がいます。その人の名は深谷 隆さん。日本と台湾および中国をビジネスの舞台に活躍する深谷さんにお話を伺いました。

株式会社深谷製作所 代表取締役社長

深谷 隆氏



工場の従業員とも直接話し、伝えたいメッセージを確実に理解してもらえようとしている。ちょっとしたニュアンスの違いがお互いの理解を遠ざけるからだ。「二つの語学に対する興味が自分の人生を変えた」という深谷さん。現在、ビジネス以外の舞台でも日中友好協会理事として、日本と中国との架け橋を築くべく活躍の場を広げている。

そして今、深谷さんの足跡を辿るように、ご子息が名古屋学院大学の外国語学部に入学され、勉強に励んでいる。語学に対する興味が親から子へ、これも深谷さんの人生が紡ぎ出した立派なコミニケーションだと私たちは思う…。



きっかけは大学で学んだ中国語

深谷さんが中国語と出会ったのは名古屋学院大学での講義。第2外国語に中国語を選択し、初日の講義を受けた時から「こんな面白いコトバがあるのか」と深く感じ入ったのだそう。二ハオ「からスタートした深谷さんの中国語学習。元々、家業が磁器をはじめとする瀬戸物のノベルティー製造会社であり、創業者の父親が事業で台湾に進出していたことも脳裏をかすめていたのかもしれない。約30年前といえば、現在ほど中国語は脚光を浴びていない時代、正に先見の妙があったといことだろう。深谷さんの語学への興味から始まった台湾および中国との付き合いは、大学卒業を前にしてさらに踏み込んだものとなる。それは発展するビジネス拠点として当時注目されていた台湾への留学。家業の磁器製造の将来を見据え、「これからは海外進出していく

時代。勝負するのは台湾で」と確信した弱冠22歳の決断だった。1年間の留学を経て帰国し、その後6年間を瀬戸の陶磁器を扱う貿易商社に勤務する。主な取引先はアメリカ、貿易と語学の勉強が同時にできた20代を過ごす。この商社勤務時代に、深谷製作所の本格的な台湾進出の足掛かりができた。お世話になったアメリカの取引先企業から、「君は中国語を話せるから、自分で台湾に進出し工場をやらうどうか」と言われたことが後押しとなり、家業に戻った後に台湾工場設立に動いた。この時、深谷さんは30歳。

語学ができたから、現地人のビジネスパートナーと出会えた

台湾工場設立時に深谷さんは自ら現地に住の共同経営者を探したという。この中国人

日本と中国の架け橋に

ビジネスパートナーとは、今も中国での工場経営を共にするかけがえのない同志となっている。これもやはり語学力があったからこそできたことだ。この出会いが、深谷製作所の中国進出を実現する。「これからは中国だ」というビジネスパートナーの助言を受けて中国本土へ。工場設立地の下見からわずか1年を待たずに中国工場を立ち上げ、製品を出荷し始める。この驚異的な速さでの事業展開にも、「郷に入れば郷に従え」の格言通りやってきただけだと謙遜する。やはり、ここでも通訳なしでコミニケーションを図れる中国語の語学力が活かされたようだ。

深谷さんが台湾および中国と関わる中で忘れないこと、それは「自分で語るコトバが一番強力なコミニケーション手段」という思い。中

活躍する同窓生募集!

名古屋学院大学同窓会会報「ngudo.com」では、各分野でご活躍される一芸に秀でた同窓生の方々の情報を募集しています。お知り合いの同窓生で、「この人は」と思われる方がいたら、是非同窓会事務局までご一報ください。電話、FAX、同窓会ホームページへの書き込み、どちらでも大歓迎です。ホームページへの書き込みは、トップページの「DO BOX」をご利用ください。

■名古屋学院大学同窓会事務局

☎052-242-6444 FAX 052-242-6445

◎同窓会ホームページ

<http://www.ngudo.com>

同窓会ホームページ

「ngudo.com」リニューアル

同窓会独自のホームページ「ngudo.com」が開設5年目を迎えました。3万人を超える同窓生の皆様と同窓会の活動をネット上でお知らせするとともに、ホームページを同窓生交流の場として有効利用していただきたく積極的に運営を行っております。

名古屋学院大学同窓会ホームページ「ngudo.com」はデザインをリニューアルし、トップページに最新情報を掲載、同窓会の最新動向が目でわかるようにレイアウトいたしました。各情報はツールバーに表記し、知りたい情報へ簡単にジャンプできるようになっています。各サークルOB会のページもリンクしておりますので、こちらもご覧ください。

本会報をお読みの同窓生の皆様、お気軽に同窓会ホームページにアクセスしていただき、活発な情報交換の場としてご利用くださいますようお願いいたします。

また、同窓生の皆様へ発送した郵便物のうち、かなりの数が宛先不明として返送されてまいります。一人でも多くの方々に情報をお伝えするためにも、お知り合いの同窓生の消息をご存知の方は本ホームページをお知らせいただき、アドレス入力ページに情報の書き込みをご案内していただくと幸いです。

同窓会への要望・質問はもちろん、あなたの貴重なご意見を今後の同窓会運営に活かしてまいりますので、「ngudo.com」を是非「利用ください」。

主なコンテンツ



↑トップページ



↑アドレス入力ページ



↑DO BOX (アイデア入力) ページ

インフォメーション

同窓会事務局では、皆様のご意見・アイデアをハガキ・FAXでもお待ちしております。「ngudo.com」同様、お気軽にご投稿ください。

●同窓会終身会員について

同窓会では、学生、卒業生への援助、また会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金、会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様に「同窓会運営」にご協力頂けるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入して頂いた方及び同年度3月以降卒業の方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないということとなっております。なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願い致します。

●年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりした財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

- 年会費一口 2,000円
 - 終身会員費 1万円以上
- 既に終身会員の方は不要です。



●支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。またホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

関東支部総会開催

日時/平成16年10月30日(土) 12:00~15:00
 会場/東京都内レストラン
 内容/懇親会
 会費/3,000円(昼食・飲み物込み)
 ※関東支部会員には9月下旬に案内状を送付します。
 問い合わせ先 関東支部支部長 榊原金市
 TEL&FAX 03-3721-2309

三重支部
 〒519-0413
 三重県会都玉城町
 妙法寺345-1
 中野隆自(71年卒)
 TEL0596-58-2191

関東支部
 〒145-0071
 東京都大田区田園調布
 1-10-3 1102
 榊原金市(70年卒)
 TEL03-3721-2309

中国・四国支部
 〒712-8003
 岡山県倉敷市水島
 明神町2-46
 藤原一致(71年卒)
 TEL086-444-5252

関西支部
 〒544-0025
 大阪府生野区生野東
 1-1-37
 中川博嗣(68年卒)
 TEL06-712-3574
 (中川登記測量事務所内)

●住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不定による郵便物の返送がかなり発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡頂くか、同窓会ホームページの「アドレス入力ページ」にて変更して頂きますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方を「ご存じの場合も、同様に」ご連絡頂けますようお願い致します。

連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局
 〒460-0008
 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階
 TEL052-242-6444
 FAX052-242-6445
 ※同封の住所・勤務先等変更ハガキをご利用ください。
 同窓会ホームページアドレス <http://www.ngudo.com>

●同窓会員の皆様へ注意

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では切そのような事はしていませんので、ご注意ください。

ラグビー部OB会

名古屋学院大学ラグビー部が昨シーズン「全国大会」と「全国地区対抗」の出場を果たしました。ラグビー部の片桐主将に今シーズンの目標についてメッセージを寄せてもらいました。

「昨シーズンの目標は東海Aリーグで優勝し大学選手権に出場する事、そして勝つ事です。昨シーズンは名古屋学院大学ラグビー部の全国大会、全国地区対抗に出場できました。とても嬉しかった反面、試合でゲームを支配しながら勝利をつかめなかった事が非常に残念でした。しかし、最後まで絶対に諦めないという気持ちがとても大切だと実感でき、それを部員全員に伝えられたのも良いシーズンだったと思います。

名古屋学院自慢の継続性の高いラグビーにFWのセットプレーに力がつければ東海で敵チーム、又みんなが楽しいラグビーができると思います。まず自分を信じて、仲間を信じて今年も頑張っていきたいと思えます。応援よろしくお願いします。」

名古屋学院大学ラグビー部主将 片桐 崇
名古屋学院大学ラグビー部OB会 小川博司

我が後輩の目標は
「東海Aリーグ優勝! 大学選手権出場!!」



数河高原合宿にて

硬式野球部OB会

「丹羽利男監督退任慰労会」
6月26日(土)
於:名古屋ガーデンパレス



丹羽前監督へ記念品贈呈

私共、硬式野球部OB会は、去る6月26日にOB会主催による丹羽利男監督退任慰労会を中区錦の名古屋ガーデンパレスで開催しました。

丹羽利男監督は37年間硬式野球部監督として、又、大学職員としても勤められ昨年12月に監督を退任、今年3月には定年退職されました。

退任慰労会には、OB120名と大学高校野球部関係者及び父兄を含め159名の出席者で会場が埋まり、皆さんから丹羽監督の人柄や思い出話も披露されるなど大変盛況となりました。これも、全国で社会人として活躍している約430名のOB諸君の結束と丹羽監督のお人柄の賜物だと思います。

最後に、丹羽監督にOB会より記念品贈呈とお礼の言葉と共に、丹羽監督からは後任監督にOBで14回生の河合浩孝氏の紹介があり、我が名古屋学院大学硬式野球部の深い絆を感じると共に、丹羽監督の今後益々のご健勝とご多幸を祈念し閉会となりました。

名古屋学院大学硬式野球部OB会会長 高木良之

ゴルフ部OB会



「OB親睦会」 8月8日(日)
於:品野台カントリークラブ

毎年、品野台カントリークラブにて開催しております名古屋学院大学ゴルフ部OB親睦会も今回で6回目。顧問の亀井先生を囲み、卒業生とあわせて50名の皆様方にご参加いただきました。天候にも恵まれ楽しいひとときを過ごすことができました。

賞品もダンロップスポーツ様 本間ゴルフ様・ブリヂストンスポーツ様の各社より協賛いただき豪華な賞品となりました。

来年も8月に品野台カントリークラブにて開催いたしますので、大勢の皆様方のご参加をお待ちしております。

名古屋学院大学ゴルフ部OB親睦会事務局
(品野台カントリークラブ内)
須崎英晴(78E) 浅見宏之(93E)

「第2回NGU軽音楽部在籍者親睦会」を今池ボトムライン1Fメトロ館にて開催しました。約40名のOBが現役時代に情熱を注いだ楽器を持参して一堂に集合。同期だけのグループ、又、年齢を越えてのセッションを楽しみ、あつという間の3時間を過ごすことができました。

中には、家族同伴のOBもあり、父親の演奏を初めて観たというご家族の方もいて、和気あいあいの会話を耳にする 것도、幹事一同、もっと輪を広げて、毎年OB親睦会を催せないうちに、何年も続けていきたいという思いでいっぱいになりました。

名古屋学院大学軽音楽部
在籍者親睦会会長 山田秀樹



「軽音楽部在籍者親睦会」 4月24日(土)
於:今池ボトムライン1Fメトロ館

軽音楽部OB会

充実してきたインターンシップ

学生が企業等の業務を直接体験することを通して、仕事に取り組む姿勢を磨き、就職活動等を真摯に行う心構えを作り上げるインターンシップ制度。名古屋学院大学の2004年度夏季のインターンシップ受入れ先は65社。インターンシップに参加した学生は先に記した目的を十分に達成し、受入れていただいた関係者の皆様から高い評価を得ています。

今回、来年開催される愛知万博の会場内運営ボランティアの運営を目的とする「愛・地球博ボランティアセンター」で活動中の学生2名にインタビューしました。愛知万博に関係したインターンシップは名古屋学院大学のみで、他大学ではできない大変貴重な体験となったようです。

カ ナ
戈娜さん(経済学部経済学科3年)

「万博に関わる仕事という、今しかできない有益な経験ができました。会社の厳しさと仕事の楽しさを同時に味わうことができたことも収穫のひとつです。また、私の母国「中国」が2010年に万博を開催するため、帰国してからの経験を是非活かしてみたいと思います。」



安井紀裕さん(商学部商学科2年)

「愛知万博の成功に向けて多くの人々が真剣に取り組んでいる姿をまじかで見ることができ、インターンシップに参加して本当によかったと思います。学生生活の中では窺えない社会の厳しさも知ることもでき、大変貴重な体験となりました。」



外国語学部「国際文化協力学科」 2005年4月開設予定

来年4月、外国語学部に新学科「国際文化協力学科」が英米語学科、中国語学科に続く第3の学科として開設されます。

同学科は、外国語学部の基本理念である「異文化と異民族の意義を探り、人間と文化の関わりを学ぶこと」に則して、国際文化の理解とわが国との交流および文化的な協力を視点として設置されます。募集定員は50名、語学力

高大連携

「総合学習プログラム」 を高校へ案内

2003年度

から高等学校などで、「総合的な学習の時間」が設けられ、多様な学習が高校での学習成果として認められるようになりました。

名古屋学院大学も地域貢献の環として、高等学校をはじめ社会との教育連携を深め「総合学習プログラム」を作成し、実施しています。

総合学習プログラムの内容は次の通りです。

- ① 高校生のための出張講座
- ② 国際交流プログラム
- ③ 大学でのインターンシップ
- ④ チャペルなど施設の開放
- ⑤ 教員向け研修会の開催
- ⑥ 入試説明会の開催、オープンキャンパスの開催



名古屋学院大学

まちづくり推進プロジェクト

瀬戸市中心市街地にある銀座通り商店街にまちづくり事務所を構えてから今年で4年目。また事務所を改装して雑貨カフェ「マイルポスト」を始めて1年半が経ちました。この間、新聞への掲載が60件以上、テレビ番組で取り上げられたこともしばしばあり、地域活性化の起爆剤となりました。学生を中心としたまちづくり体験、大学の教育カリキュラムと連携したビジネス経験も行える等、その実践的な社会経験によって、社会で活躍できる人材の育成に少なからず貢献してきました。

このような成果から、カフェを拠点とするまちづくり活動の教育的活用について、大学より「名古屋学院大学まちづくり推進プロジェクト」として活動することが認められました。

同窓生の皆様においては、この学生を中心としたまちづくり、ビジネスを通じての社会参画に今後ともご支援の程をよろしく願います。



名古屋学院大学AO入試 「自己推薦AO入試」新設

名古屋学院大学が全国に先駆けてAO入試を導入して以来、今年で6回目を迎えます。昨年、「同窓生子弟対象AO入試」が設けられ、「体験入学AO入試」と併せて2つのAO入試を実施してきましたが、今年から新たに「自己推薦AO入試」が新設されました。これは自分の可能性を積極的にアピールできる入試として注目を浴びています。

さらに充実したAO入試、特に受験生をお持ちの同窓生の方々においては、名古屋学院大学ファミリー形成を推進する上で、是非とも「同窓生子弟対象AO入試」に出席をお勧めいただきたいと思います。

「センター試験利用入学試験」 2005年度入試より新設

2005年度大学入試センター試験結果による合否判定が行われることになりました(名古屋学院大学の個別試験は実施しません)。

複数の科目を受験した場合には、高得点の2科目が合否判定に使用されます。学外・学内(後期)同一学部内においての併願ができます。

名古屋学院大学
2005年度入試については
入学センターまで
お問い合わせください。

お申し込み及び
お問い合わせ先

名古屋学院大学
入学センター
☎0120-42-0339
Eメール
nyushi@ngu.ac.jp

全国大学ランキングで 名古屋学院大学が高い評価

今春、「大学ランキング2005年度版」(朝日新聞社:2004年4月)が発行され、日本の大学717校における諸活動のランキングが掲載されています。

名古屋学院大学もいくつかの項目でランキングされています。本会報ではランキングした主な項目をご紹介します。

海外留学制度 留学生派遣110名	5位
学生食堂 学生からの評価(総合19.0点)	13位
AO入試 AO入試入学者183名	18位
インターンシップ実施 学生定員に占める割合12.7%	22位
実施学生数121名	23位
私学助成 高度化推進特別補助 (学生1人当たり/30,800円)	27位
IT環境(LAN接続) LAN接続台数 (学生1人当たり/1.20台)	35位
IT環境(パソコン設置) パソコン設置台数 (学生1人当たり/1.20台)	38位

2004年度入試結果と 2005年度入試に向けて

名古屋学院大学の2004年度入試結果は別表のとおりでした。2004年度は専願制推薦入試を廃止し、他大学との併願を認める「公募制推薦入試」および一般入試に「後期B日程入試」を導入したこと等により総志願者数は2,286名(2003年度1,915名)で371名の増加となりました。18歳人口の減少や本学と同系統の学部学科の増加など大学を取り巻く環境が厳しい中(中部地区の大学の大半は志願者減少でした)志願者数の増加は、本学にとって心強いことで、加えて各入試区分の競争倍率は昨年並みの倍率を維持し、とくに一般入試の倍率は近年にない高い倍率となりました。

創立40周年記念講演会 を開催

名古屋学院大学は今年創立40周年を迎えます。1964年4月に学校法人名古屋学院の設置する経済学部経済学科のみの単科大学として名古屋市東区大幸町(現在の名古屋高校)に開設されました。以後瀬戸キャンパス移転、学校法人分離、外国語学部、商学部の設置と、そして大学院の開設と40年の歴史を刻んできました。

この40周年を記念して創立記念日にあたる10月15日(金)に下記のとおり創立記念講演会を開催することになりました。同窓生のみならずの多数のご参加をお待ちいたしております。



2004年度入試結果

学部	学科	志願	受験	合格	入学
経済	経済	773 (49)	748 (45)	518 (35)	291 (18)
	政策	247 (15)	241 (14)	213 (14)	161 (8)
	計	1,020 (64)	989 (59)	731 (49)	452 (26)
商	商	378 (60)	362 (56)	264 (46)	167 (26)
	情報BC	282 (48)	275 (47)	189 (40)	153 (29)
	計	660 (108)	637 (103)	453 (86)	320 (55)
外国語	英米語	524 (249)	509 (244)	311 (157)	156 (71)
	中国語	82 (34)	77 (33)	92 (42)	54 (25)
	計	606 (283)	586 (277)	403 (199)	210 (96)
総合計		2,286 (455)	2,212 (439)	1,587 (334)	982 (177)

※情報BCは情報ビジネスコミュニケーション学科の略称です。
※()内は女子。
※政策学科、商学科、中国語学科の合格者数については、同一学部内の別学科からの第2志望合格者を含む

2005年度入試日程

学部	入試	大学院
10月16日(火)	体験入学AO入試 編入学試験(前期) 特別試験[外国人留学生・帰国子女・社会人](前期) 同窓生子弟対象AO入試	9月18日(土) 経営政策専攻(博士前期課程1期) 9月25日(土) 経済学専攻、 英語学専攻、 中国語学専攻(修士課程1期)
11月13日(土)	自己推薦AO入試 スポーツ推薦(前期) 一般推薦	10月24日(日) 通信教育課程 英語学専攻(修士課程1期)
11月14日(日)	一般推薦 指定校推薦 特別指定校推薦(前期)	2月5日(土) 経済学専攻、 英語学専攻、 中国語学専攻(修士課程2期)
12月4日(土)	自己推薦AO入試	2月12日(土) 経営政策専攻(博士前期課程2期)
1月31日(月)	自己推薦AO入試 スポーツ推薦(後期A日程) 編入学試験(後期) 特別試験[外国人留学生・海外帰国子女・社会人](後期)	2月13日(日) 通信教育課程 英語学専攻(修士課程2期) 経営政策専攻(博士後期課程)
2月1日(火)	一般試験(前期)	
2月2日(水)	一般試験(前期)	
2月3日(木)	一般試験(前期)	
2月27日(日)	一般試験(後期A日程)	
3月13日(日)	一般試験(後期B日程) 特別指定校推薦(後期) スポーツ推薦(後期B日程)	

2005年度入試より[センター試験]に参加

大学院2004年度秋学期入試
9月18日(土) 経営政策専攻(博士前期課程)

「40周年記念講演会」 受講申し込み方法

FAX、ハガキ、E-mailにて下記までお申し込みください。
受講料/無料 定員/300名
※定員に次第、締め切らせていただきます。
●お申し込み及びお問い合わせ先
名古屋学院大学
エクステンションセンター
〒480-1298
愛知県瀬戸市上品野町1350
TEL 0561 (42) 1096
FAX 0561 (42) 1097
ホームページ
<http://www.ngu.ac.jp/>
Eメール nguec@ngu.ac.jp

- 日時 10月14日(木)午後3時
- 会場 名古屋ガーデンパレス(名古屋市中区錦)
- 演題 「ゆつくり歩こうなあ」
- 講師 福井達雨(止揚学園リーダー)

このほか、創立記念特別講演会を次のとおり開催します。

名古屋学院大学40周年記念
国際文化協力学科設置記念講演会
日時 10月15日(金)午後3時
会場 名古屋国際会議場レセプションホール
演題 「次なる40年に向けて―新価値の創造―」
講師 北川正恭(三重県知事)

40年三十二年表

年	出来事
2004	40周年記念シンボルマーク
2003	名古屋学院大学創立40周年
2001	ビジネスコミュニケーション学科設置(学生定員100名)
2000	大学院通信教育課程英語専攻設置(学生定員150名)
1998	大学院外国語学専攻設置 サテライト設置(中日ビル)
1997	大学院経済経営研究科経済学専攻設置
1992	大学院外国語学専攻設置 経済政策専攻設置 職業実践校
1991	大学院外国語学専攻設置 大学院外国語学専攻設置
1989	大学院外国語学専攻設置(入学定員300名) 望星館竣工
1988	希望館、第二研究館、 国際センターハラス竣工
1986	外国人英語米学専攻設置(入学定員100名) 中国語科設置(入学定員50名) 望星館別荘(入学定員300名) 教職課程設置(中国語)
1984	希望館、第二研究館、 国際センターハラス竣工
1983	バイオフィラソフ奉獻
1980	外国人語教育センター設置 情報処理センター設置
1976	教職課程設置(商業科)
1975	経済学専攻設置(入学定員300名) 教職課程設置(社会学)
1973	経済学専攻設置(入学定員300名) 学校法人名古屋学院大学認可
1968	瀬戸キャンパスに移転 全学が瀬戸キャンパスに移転
1967	瀬戸学舎一部移転
1966	瀬戸学舎一部移転
1964	名古屋学院女学院 経済学部経済学専攻設置(入学定員600名) 本学開学式(10月15日) 創設記念日10月15日 商学科設置(入学定員100名)
1951	学校法人名古屋学院と改称 新制高等学校設置 学校法人名古屋学院と改称
1948	財団法人名古屋学院に名称変更 新制高等学校設置
1920	名古屋中学校と改称
1906	私立名古屋中学校開校
1887	私立愛知英語学校創設 名古屋英和学校と改称 私立名古屋中学校開校